

機械器具(70) 歯科用鑄造器
一般医療機器 歯科技工用ポーセレン焼成炉 (JMDN 35762000)

ゼノテック ファイヤー P1

【形状・構造及び原理等】

1. 構成

<本体>

シンタリングファーンズ (電源ケーブル含む)

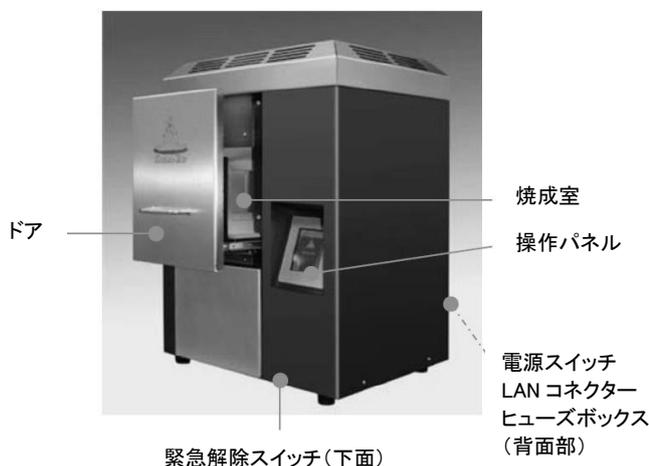
<付属品>

- ・プロダクト CD
- ・スクリーン プロテクター
- ・シンタリング補助器具
- ・取扱説明書

<別売アクセサリ>

プロテクティブカバー	100 x 70 x 30mm
セラミック オーバーレイ	100 x 70 x 6mm
セラミック ベースプレート	100 x 70 x 8mm

2. 外観と各部の名称



3. 本体寸法、重量

シンタリングファーンズ
・寸法: 450 mm × 390 mm × 660 mm (幅 × 奥行 × 高さ)
・重量: 38 kg

焼成室内容量

・容量: 0.34L
シンタリング有効面積: 70 x 100mm
シンタリング有効高さ: 70mm

4. 電氣的定格

・電源	230V
・周波数	50-60 Hz
・消費電力	2300 W (最大)

5. 機器の原理

焼成室に設置された焼結前のジルコニアクラウンは、あらかじめ本体にインプットされた焼結条件(温度、時間)に基づいて、シンタリングファーンズ内で加熱、焼結される。

【使用目的又は効果】

本機器は、ポーセレンを焼成するために歯科技工で使われる炉である。

【使用方法】

1. 準備

- 1.1 本体用の電源ケーブルを本体背面の電源ケーブルコネクターに接続し、コンセントに接続する。
- 1.2 ネットワークまたは個々のコンピュータを使用する場合は、LANケーブルを本体背面のLANコネクターに接続する(オプション)。

2. スイッチの ON/OFF

- 2.1 本体背面の電源スイッチを ON にする。
- 2.2 シンタリングファーンズのシステムが起動し、約 30 秒後に使用可能な状態となる。
- 2.3 本体背面の電源スイッチを OFF にする。

3. ドアの開閉

- 3.1 焼成室のドアを開ける際は、操作パネルに表示されたドアロック解除キーを選択する。キーを選択後、3 秒以内にドアを開く。
- 3.2 焼成室のドアを締める際は、焼成室が確実に密閉されるまでドアをゆっくりと押し込む。ドアが確実に閉まると、安全装置が起動し、再度ドアロック解除キーを押されるまで、ドアはロックされる。

4. 焼成物の設置と取り出し

- 4.1 セラミック オーバーレイ上にジルコニアクラウンを置き、プロテクティブカバーを被せて焼成室の中心に設置する。
- 4.2 焼結後のクラウンの取り出しは、適切なツール(ピンセット等)でおこなうこと。

焼成物の取り出しを行う際は、焼成室内および焼成物が十分に冷却されていることを確認すること、また全ての操作時において耐熱性安全グローブを着用すること。

5. プログラムの選定とスタート

プログラムの選定およびスタートは、ドアが確実に閉まっている状態でのみ行うことができる。

5.1 プログラムの選定

操作パネルの「next」(訳: 次へ)ボタンを選択する。「program-list」(訳: プログラムリスト)から実行する焼成プログラムを選択する。

5.2 プログラムの確定

操作パネルの「execute」(訳: 実行)を選択する。

5.3 プログラムの実行

操作パネルの焼成開始ボタンを選択すると、設定されている焼成プログラムがスタートする。

6. 終了

- 6.1 焼成プログラムが終了するとピープ音ができる。
- 6.2 焼成室内の温度が 300°C に下がるまで冷却する。
- 6.3 焼成室内の温度が 300°C 以下まで冷却後、ドアロック解除キーを選択し、ドアを開き、焼成物を取り出すことができる。(項目 3.1 参照)

【使用方法に関連する注意事項】

- 1) 電源は安定した単独回線に接続し、電圧が本機器に指定されている電圧と一致していること。
- 2) 電源は本機器から 100cm 以内にあるコンセントを使用すること。
- 3) アースは正しく接続すること。
- 4) 常に最適な温度状態を維持できるように、定期的に温度校正を行うこと。
- 5) 熱電対の損傷を防ぐため、焼成炉内に入れる焼成物の高さは 70mm を超えないこと。(焼成物及び焼成用トレイの高さを含む)
- 6) 操作パネルのボタンを操作する際は、鋭利なもので操作するとボタンの表面を破損する恐れがあるため、必ず指で操作すること。
- 7) 冷却ファンが作動している間は、電源スイッチを切らないこと(故障の原因となる)。
- 8) 本機器の電源を切る際は、焼成室への湿気を避けるため、ドアを閉めた状態にすること。

取扱説明書を必ずご参照ください。

【使用上の注意】

1) 使用注意

- ①【使用目的又は効果】の項に記載された用途以外には使用しないこと。
- ②本機器を使用する前に取扱説明書をよく読み、正しく使用すること。
- ③本機器は水のかからない場所に設置すること。
- ④本機器を設置する場所は、約 60℃の耐熱性(不燃性)で約 38kg の重量に十分な強度をもった水平なテーブル上に置き、最も近い壁から 100 cm 離して設置すること。また周囲に可燃性のものを置かないこと。
- ⑤本機器作動中は、室内が 25℃を越えないように常に温度管理をすること。
- ⑥本機器上部の通気口は絶対にふさがないこと。
- ⑦本機器の設置場所には消火設備を設置すること。
- ⑧本機器の作動時は、機器が正常に機能していることを常に監視すること。(未監視下で機器を作動させることは、火災の原因となる。)
- ⑨本機器の加熱中及び加熱後は焼成テーブル及びその周囲が高温となるため、火傷に注意すること。
- ⑩コード類の抜き差しには必ずプラグ部を持ち、コードに無理な力を加えないこと。
- ⑪本機器内部に触れると感電の恐れがあるため、絶対に本体を開けないこと。
- ⑫本機器に異常が発見された場合は、速やかに機器の使用を中止し、適切な措置をとること。
- ⑬本機器は改造しないこと。
- ⑭歯科医療有資格者以外は使用しないこと。

2) 重要な基本的事項

- ①故障した際は適切な表示を行い、修理完了までは使用しないこと。
- ②本機器の修理は修理担当者以外行わないこと。

【保管方法及び有効期間等】

〔貯蔵・保管方法〕

- ①水のかからない場所に保管すること。
- ②傾斜、振動、衝撃(運搬時を含む)などに対する安定状態に注意すること。
- ③気圧、温度、湿度、風通し、直射日光、ほこり、塩分、イオウ分などを含んだ空気などによる悪影響の生ずる恐れのない場所に設置すること。
- ④化学薬品の保管場所や、ガスの発生する場所に設置しないこと。
- ⑤歯科の従事者以外が触れないように適切に設置・管理すること。

【保守・点検に係る事項】

- ①本機器及び付属品は必ず定期点検を行うこと。
- ②しばらく使用しなかった機器を再使用する場合は、使用前に必ず機器が正常かつ安全に作動することを確認してから使用すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

【製造販売元】*

ペントロンジャパン株式会社

〒140-0014 東京都品川区大井 4-13-17

TEL. 03-5746-0316 FAX. 03-5746-0320

【製造元】

ウィーランド デンタル + テクニック社 (ドイツ)

(Wieland Dental + Technik GmbH & Co.KG)